

# 平成 27 年度 伊勢地域公共交通会議 第 2 回 議事要旨

## ■ 開催概要

日時：平成 27 年 7 月 30 日（木）19:00～

場所：伊勢市役所 東庁舎 4-2 会議室

出席者：全 11 名

学識経験者 1 名（中部大学教授）

市民代表 2 名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1 名（三重交通伊勢営業所所長）

一般旅客自動車運送事業者

1 名（三重県タクシー協会伊勢支部長代理）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1 名（三交伊勢志摩交通労働組合 執行委員長）

中部運輸局三重運輸支局

1 名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署 1 名（交通官）

三重県 1 名（地域連携部交通政策課長）

伊勢市 2 名（市長・都市整備部長）

事務局 3 名（伊勢市都市整備部交通政策課）

## ■ 議事内容

### ■ 伊勢市地域公共交通網形成計画の骨子案について

事務局より、伊勢市地域公共交通網形成計画について、資料を用いて説明。

おかげさまアクションエコスタンプラリー等と連携してはどうか。利用促進に伴いバス路線が維持されていくのではないか。（市民代表）

⇒伊勢市地域公共交通網形成計画の素案に入れていければと考えている。（事務局）

マイカーから公共交通への転換はすぐには難しい。車と鉄道を利用し、まずは駅周辺まで車を利用し、徐々に公共交通機関へと切り替えていってはどうか。例えばマイカーからシェアリングカーへと利用を転換し、結果として、車の総数減少・駐車場確保へと繋げることができるのではないか。（学識経験者）

「モビリティ・マネージメント」の表記について、分かりやすく説明しやすい表現に変更してはどうか。（学識経験者）

「バスロケーションシステム」の表記についても変更してはどうか。(会長)

⇒表記について事務局で再度検討する。

高齢者の外出機会の増進については、自主的に運転免許証を返納している人にバスの無料乗車券を配布するなどしてはどうか。(市民代表)

三重交通では、運転免許証を返納している人を対象に割引定期券（運転免許返納者割引定期券、通称「セーフティバス」）を発売している。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

## ■ おかげバス利用促進（無料）キャンペーンについて

事務局より、おかげバス利用促進（無料）キャンペーン（案）について、資料を用いて説明。

運賃を無料とした場合、高齢者にとっては200円であり、どれだけ利用が見込まれるか。話題性の面でもなにかイベントが必要ではないか。市制10周年の記念事業とするのであれば、おかげバスが運行されていない地域への配慮も必要。おかげバスはショッピングセンターへ1日に何度も乗り入れているので、この期間にタイムサービスなどを実施してもらえないか。実施にあたっては、帰りのバスの時間も考慮する必要がある。料金無料を次に繋げていく工夫が必要である。(市民代表)

キャンペーンの期間については、伊勢まつりなどのイベントの開催と合わせてはどうか。(市民代表)

目的を明確にすること、見込みでもいいので目標を設定すること、乗車のきっかけづくりに関する工夫が成功に繋がるのではないか。(学識経験者)

11月1日は大学駅伝の規制があるため、バスが円滑に動く日から開始するのが良いのではないか。(市民代表)

名称は「料金無料キャンペーン」よりも「バスに乗ろうキャンペーン」等のほうが良いのではないか。(伊勢市)

⇒キャンペーンについては再度検討することとなった。(事務局)